

人工林の生物多様性を高める森づくりの普及啓発と市民参加型の施業モデル実践

活動地域  神奈川県相模原市



フォレスト21さがみの森でのモデル実践

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

モデル実践レポート作成 **1**件

オンラインイベントの参加者数 **580**人

今年度計画の達成度 **85**%

全体計画の達成度 **85**%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

森林に関心の少ない、関わりの少ない方に向けた普及啓発をどのようにして展開するか、どんな形の情報を発信するかという点。

■ 工夫した点

森林に関わりの少ない人にとって直接足を運ぶのはハードルが高いので、オンラインでかつ馴染みのあるテーマに紐づけたイベントを企画した点。

課題

林業の衰退、木材価格の低迷と過疎化により、手入れがされていない人工林の荒廃が進み、森林の優れた公益的機能が十分に発揮されていない状況がある。

目標

人工林の多様性を高める森づくりの認知、また森林の多様性の大切さを実感する人を増やし、市民参加による協働で荒廃した人工林を生態系豊かな森林へと移行させる。

活動内容と成果

- 事例ガイドの発信と普及啓発
人工林の多様性を高める森づくりに関するガイドを公開・発信し、2,092件のダウンロードがあった。関連する普及啓発オンラインイベントを3回開催し、計933人の視聴参加があり、全国各地の参加者への情報発信を行い、手法や現況に関する認知を上げた
- 森林フィールドでのモデル施業
運営する「フォレスト21さがみの森」にて市民参加による実践を行った。高木性樹種の育成を促進するため、低木層樹種の除伐やヒノキ間伐を行った



企業との協働による森づくり活動（植樹）

オンラインイベント「土って何だろう?」

全助成期間の活動を振り返って

1年目での情報収集とフィールドにおける基礎的調査をもとに、2年目に「人工林の多様性を高める森づくり」の事例ガイドの作成と、市民参加型フィールドでの実践をスタートした。3年目にはガイド作成で得た知見を活用し、オンラインイベントによる普及啓発と、フィールドでの実践を計画通り進めることができた。当法人のネットワークだけでなく、関心層以外へのアプローチも加えて情報発信をすることができた点が大きかった。

〒113-0033
東京都文京区本郷2-25-14 第一ライトビル405
電話：03-3868-9535
E-mail：office@moridukuri.jp
HP：https://www.moridukuri.jp



今後の展望

「生物多様性保全」が世界的に注目されており、ネイチャーポジティブな活動は、市民団体だけでなく企業にも求められるようになってきた。この点は本事業で取り組んできたことが十分に活用できると考えており、市民も企業も参加・協働する「多様性を高める森づくり」を今後一層進めていきたい。とくに企業社員への参加促進アプローチによって、森づくりへの参加拡大と、森林・林業への認知拡大を図っていきたい。

